

回復期リハビリテーション病棟（南病棟）の実績公表

2026/4/1

I. 退棟患者数（令和8年1月～令和8年3月）

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数 89 名

② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数 80 名

③ ②の内訳（下表のとおり）

回復期リハビリテーションを要する状態の患者数の内訳		患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	32 名	40.0 %
	高次脳機能障害を伴う重症脳血管障害、重度の脊髄損傷等	0 名	0.0 %
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節または2肢以上の多発骨折の発症後または手術後	48 名	60.0 %
3	外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	0 名	0.0 %
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後	0 名	0.0 %
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態（術後1か月以内に回復期リハビリテーション病棟入院基本料の算定が開始されたものに限る）	0 名	0.0 %

II. 実績指数（前月までの6ヶ月間）4月、7月、10月、1月に算出

④ 実績指数（⑥/⑦） 令和8年4月 65.4 点
 実績指数の数値が大きいほど、リハビリの効果があつたこととなり、
 当院では、回復期リハビリテーション病棟入院料1の基準となる「実績指数40以上」を満たしております。

⑤ 実績指数の計算対象とした患者数 127 名

⑥ ⑤の患者の退院時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和 3,403 点

⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和 52.02

④の計算方法

$$\text{実績指数} = \frac{\text{⑥ FIM運動項目の得点 退棟時} - \text{入棟時 (対象患者の合計)}}{\text{⑦ 存棟日数} \div \text{入棟時の状態での算定日数上限 (対象患者の合計)}}$$